著作権も安心の記事クリッピング
ELNET
イーエルネット

2025年度
特集号

ELNET新聞

発行社　株式会社エレクトロニック・ライブラリー
代表者　代表取締役社長 三池元
所在地　東京都中央区京橋二丁目12番6号

数字で見るELNET

今回は、企業、団体向けに記事情報の共有を手間なく自動化できるクリッピングサービス「モーニングクリッピング®」を展開しているELNET（株式会社エレクトロニック・ライブラリー、東京都中央区）を特集。現在、2025年度までの中期経営計画を推進しつつ、時代のニーズに対してアップデートを続けている当社について、基本情報や特長、事業に関するあれこれを数字で分かりやすく紹介する。（いずれも2025年7月時点の情報）

国内最大級クリッピングサービス

なかでもELNETを知るうえで重要としたのは下図で示した5つの項目である。ELNETはクリッピング業界において、全国の新聞記事切り抜きイメージを横断的かつ網羅的に提供する唯一無二のサービスであり、創立から蓄積されている記事数は、2025年7月時点で約5，000万件と日本最大級の規模である。

主力サービスの「モーニングクリッピング®」を中心に、業種業界を問わず様々な企業・団体、累計約5，000社との取引実績を誇り、小規模な企業ながらも一人あたりの売上高は約5，000万円となっている。

多くのユーザーに支えられている要素として、サービスのコアコンピタンスである5つのSが挙げられる。当日の記事を朝一番に届けるSPEED。検索条件に基づいた必要な記事を多くのデバイスで確認できるSMART。掲載イメージを閲覧できるSTRAIGHT。著作権許諾済みで安心して利用できるSAFE。ネットワークを介して記事共有を行えるSHARE。是非一度ELNETのサービスを試していただきたい。

いーえるねっとどんな会社？

一人あたり売上高
5,000万円
ELNETのモーニングクリッピング®は幅広く活用され、売上高も上昇傾向にある

クリッピング業界※
No. 1
全国の新聞記事切り抜きイメージを横断的かつ網羅的に提供する唯一無二のサービス

累計ユーザー数
5,000社
業界トップ企業から小規模クラス、官公庁、大学、研究機関などの取引実績

コアコンピタンス
5S
SPEED/ 朝一番にお届け
SMART/ マルチデバイス対応
STRAIGHT/ 紙面イメージ閲覧
SAFE/ 著作権許諾済み
SHARE/ 情報共有しやすい

蓄積記事数
5,000万件
全国の新聞記事切り抜きイメージを横断検索できるデータベースとしては日本最大級の規模

※クリッピング業界・・・全国の新聞記事切り抜きイメージを横断的かつ網羅的に提供するクリッピング業界をさす

創立年数

1986年創立から**39年目**を迎えた。電通・朝日新聞社・NTTにより、画像情報サービスの可能性について研究を始めたことがきっかけ。新聞や雑誌などの情報が社会の多くの皆様にとって有益な情報源であると信じ、朝一番にお届けするというコンセプトのもと、多数の株主の協力を得て設立された。以来、多くのユーザーに支えられ、現在も幅広く継続的に利用いただいている。

2021年4月には中期経営計画を策定、創立40年を迎える2025年度をKGI達成年に設定し、新規事業開発など新たな試みを着々と進めている。情報があふれる世の中で、これからもユーザーへ必要な価値を届けていく。

▲ELNETサービス開始式の様子

取り扱い媒体数

毎朝7時台に**新聞約100紙、雑誌約30誌、国内約1500のWEBサイト**から必要なニュースを集めユーザーへ提供している。新聞は全国紙をはじめとして、ブロック紙、専門紙、地方紙、夕刊紙、スポーツ紙までを網羅。雑誌も主要な週刊誌・月刊誌より厳選、WEBサイトも各新聞社のサイトやポータルサイト、専門サイトまでと幅広くカバーしている。著作権許諾済みのため安心して利用できるのがポイント。

なお、ELNET本社には採録している全国の新聞を一堂に集積した「ELNET100紙ギャラリー」を設けている。

▲ELNET100紙ギャラリー

ユーザー業種

企業でクリッピングを実施する目的は多種多様。日本標準産業分類の分類20種のうち**16種**にわたる業種に区分される企業がユーザーとなっており、業種業界を問わず導入されていることがわかる。

実際の利用場面として、広報部門では自社業界の動向把握や、広報活動の効果確認、自社のリスク管理などを目的に利用されることが多い。また、経営企画部門や調査研究部門などでは、競合動向のチェック、新規事業の検討、法改正に関する情報収集のために利用しているケースもある。

株主社数

国内の新聞・通信・出版各社の新聞、雑誌記事を横断的に配信・検索できるクリッピング・データベース事業社として設立。電通グループ、朝日新聞社を筆頭にNTTドコモビジネス、読売新聞東京本社ほか多数の新聞社、通信社、金融機関等、**全58社**の株主の協力を得て運営している。

▲本社ビル

▼執務スペース

社員構成と本社所在

東京本社で働く従業員46名のうち、男女比率は**男性6割、女性4割**となっている。管理職は12名で、男性9名、女性3名が活躍中。また、従業員の**平均年齢は44・2歳**で、年齢バランスを考慮に入れた定期採用を続けている。

オフィスは東京都中央区の1箇所に集約し、**最寄りは3駅**（銀座線京橋駅・浅草線宝町駅・JR/丸ノ内線東京駅）とアクセスのよい立地に位置している。

入力拠点数

全国3か所に入力拠点がある。まず、各印刷所から収集した新聞が集められる東京入力センター（17名）と大阪入力センター（15名）。また、那覇データ入力センター（63名）では、東京・大阪の入力センターでスキャンされた紙面データに書誌情報を加えた記事単位の切り抜きイメージを制作している。現在では新聞紙面からのスキャンデータだけではなく、新聞社から提供された電子データを活用している媒体もある。深夜から始まる作業は各拠点が連携することで安定して運用されている。

採録記事数と記事出力数

各入力拠点にて作業される**一日あたりの採録記事数は10，000記事**におよぶ。ELNETは全国から集められた新聞、約100紙のデータ入力を行い、ユーザーごとに必要な記事を毎日届けている。**記事見出しの出力量は、一日あたりおよそ50，000件、記事の切り抜きイメージ（原文）の出力量は一日あたり20，000件**にもおよぶ。

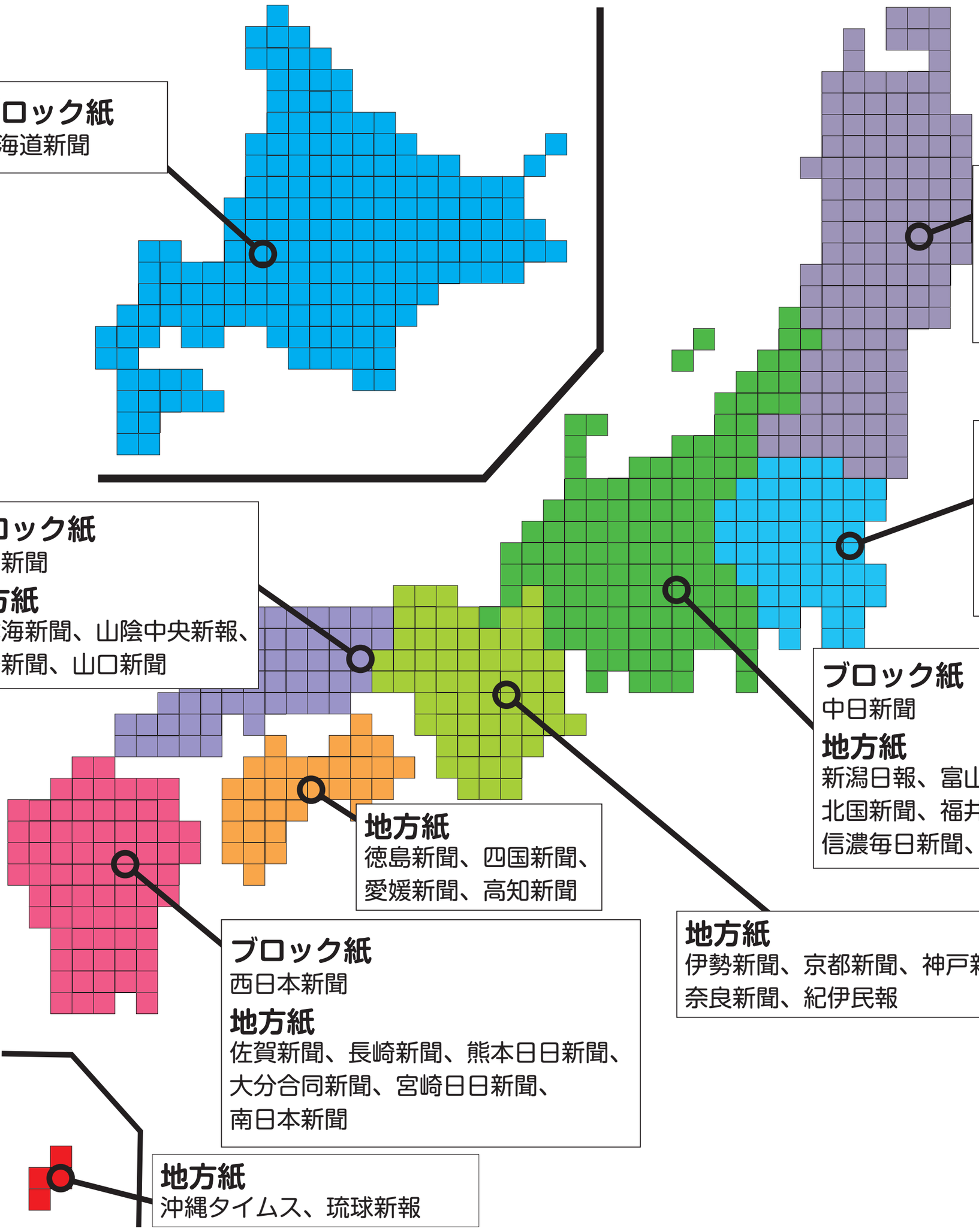
【クリッピング（clipping）とは】

もともと新聞、雑誌の記事を切り抜いて保管することを意味していましたが、近年のメディアの広がりにより、現在は新聞・雑誌・WEBサイトなど様々なメディアから自社に有用な記事を「切り抜いて整理・活用すること」を意味するようになりました。自社や競合企業、同業界の情報収集を行い、事業戦略へ活かすだけでなく、トレンドやビジネスキーワードにあたる情報を収集して社内の情報共有を図り、インターナルコミュニケーションの一環としても活用されています。

当日朝刊の記事を **SPEED** 最速7時台にお届け
時間の有効活用 **SMART** マルチデバイス対応
掲載されたままの **STRAIGHT** 記事イメージ
著作権許諾済み **SAFE** 安心の記事利用
社員間での格差なく **SHARE** 情報共有・情報活用

取扱新聞一覧

全国紙
朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞



ブロック紙
北海道新聞

ブロック紙
河北新報
地方紙
東奥日報、岩手日報、秋田魁新報、
山形新聞、福島民友、福島民報

ブロック紙
東京新聞
地方紙
茨城新聞、下野新聞、上毛新聞、
埼玉新聞、千葉日報、神奈川新聞

ブロック紙
中国新聞
地方紙
日本海新聞、山陰中央新報、
山陽新聞、山口新聞

ブロック紙
中日新聞
地方紙
新潟日報、富山新聞、北日本新聞、
北国新聞、福井新聞、山梨日日新聞、
信濃毎日新聞、岐阜新聞、静岡新聞

地方紙
徳島新聞、四国新聞、
愛媛新聞、高知新聞

地方紙
伊勢新聞、京都新聞、神戸新聞、
奈良新聞、紀伊民報

ブロック紙
西日本新聞
地方紙
佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、
大分合同新聞、宮崎日日新聞、
南日本新聞

地方紙
沖縄タイムス、琉球新報

専門紙
日経 MJ（流通新聞）※、日刊工業新聞、電波新聞、中部経済新聞、電気新聞、化学工業日報、日刊油業報知新聞、石油通信、ガスエネルギー新聞、週刊粧業、電経新聞、電子デバイス産業新聞（半導体産業新聞）、日刊産業新聞、薬事日報、薬事ニュース、日刊薬業、鉄鋼新聞、日刊自動車新聞、株式新聞、ニッキン、日本証券新聞、金融経済新聞、保険毎日新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞、日刊木材新聞、映像新聞、商業施設新聞、通販新聞、繊研新聞、繊維ニュース、日本海事新聞、観光経済新聞、日刊水産経済新聞、日本食糧新聞、食品新聞、食品産業新聞、日本農業新聞、住宅新報、週刊住宅、生産性新聞、原子力産業新聞

スポーツ紙
日刊スポーツ、報知新聞、スポーツニッポン、サンケイスポーツ

夕刊紙
夕刊フジ、日刊ゲンダイ

※日経 MJ は日経テレコンより提供となります

（公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会「広報・マスコミハンドブック ＰＲ手帳 2025 年版」の区分に準拠）